



スペシャルオリンピックス日本×東洋大学 2018年度ユニファイドスクール活動報告書



東洋大学
TOYO UNIVERSITY



Special Olympics
Unified Schools

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本(以下 SO 日本)は、2018年3月6日に、わが国では初の試みとなるユニファイドスクール パートナーシップ協定を学校法人東洋大学ならびに認定 NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・東京(以下、SON・東京)との間に締結しました。

ユニファイドスクールとは、幼稚園から大学までの学校と連携し、ユニファイドスポーツ®の機会を学生や学校関係者に提供することで、スポーツを通じて知的障害のある人とない人が、お互いの理解を深めること、またその結果として、共生社会の実現を促進させることを目的として立ち上げた取り組みです。

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、障害者スポーツに対しても大きな関心が集まるなか、SO 日本は東洋大学の協力・支援を得ながら、ユニファイドスクールの推進に取り組み、「障害の有無に関わらず、多様性を尊重する社会」の実現に貢献して参ります。

本年は活動初年度ではありましたが、SON・東京が実施するユニファイドプログラムへの学生の参加、東洋大学キャンパスでの協定イベントの実施、大学施設の利用、またはコカ・コーラ支援自販機の設置などを実施しました。

I. 活動概要

【ユニファイドスクール協定としての活動】

1. SON・東京 実施のスポーツプログラムへの参加

開催期間：2018年4月～(通年)

会 場：競技ごとに異なる。

参加種目：ユニファイドバスケットボールを中心に参加

参加人数：東洋大学 学生 約 50 名(実数)

2. ユニファイドワークショップ

開催期間：2018年11月18日(日) 10:15-12:00

会 場：東洋大学 清水町総合スポーツセンター(東京都板橋区清水町 92-1)

実施内容：ユニファイドスポーツの説明およびユニファイドプログラムの見学

参加人数：約 45 名(プログラム参加者含む)



3. コカ・コーラ支援自販機の設置

設置場所：白山キャンパス六号館入口外付近

設置台数：1台

設置時期：2018年8月31日(金)

4. 東洋大学施設利用

借用施設：総合スポーツセンター アリーナ

(ユニファイドバスケットボール会場 2018年10月28日,11月18日)

白山キャンパス 1308 教室

(2019年 SO 夏季世界大会日本選手団コーチミーティング会場 2019年2月23日)

【その他の協働活動】

1. 白山祭での学術発表

開催時期：2018年11月3日(土)

会場：東洋大学 白山キャンパス(東京都文京区白山5丁目28-20)

実施内容：社会学部 社会福祉学科 志村ゼミによる学術発表

(SO や知的障害のある人に関するポスター発表およびボッチャ体験)

参加人数：約50名(一般来場客・SO アスリート5名・志村ゼミ生17名含む)

2. シンポジウム

開催時期：2018年11月13日(火)

会場：東洋大学 白山キャンパス

実施内容：企業・団体による、スポーツを通じた、障害のある人の社会参加、自立支援についてのシンポジウム

参加団体：日本財団パラリンピックサポートセンター、トヨタ自動車株式会社、
スペシャルオリンピックス日本

参加人数：約230名(社会福祉学科1年生約200名)

3. 2018年スペシャルオリンピックス日本 関東ブロック フロアホッケー交流会

開催期間：2018年11月25日(日)

会場：東洋大学 朝霞キャンパス 体育館(朝霞市溝沼1312-3)

実施種目：フロアホッケー(チーム競技/個人スキルコンテスト)

参加地区：SON・埼玉、SON・東京、SON・神奈川、SON・千葉、SON・山梨、SON・茨城

参加人数：アスリート約100名、コーチ・役員約40名、ファミリー約100名

ボランティア約20名(内、東洋大学生3名)

計 約260名

II. 活動内容

1. スポーツプログラムでの活動

ユニファイドスクールの活動基盤であるスポーツプログラムへ参加は、東洋大学社会貢献センターを中心に募集・案内を行いました。参加を希望した学生は、同センターのボランティアコーディネーターによる事前の研修会を受講した上で、ユニファイドプログラムおよびトラディショナルプログラムにパートナー・ボランティアとして参加しました。また、10月28日、11月18日は東洋大学総合スポーツセンターの体育館にてユニファイドバスケットボールのプログラムを実施しました。

S0 活動を通して初めて知的障害のある人と接した学生から寄せられた感想

①「ユニファイドスポーツを通して共に楽しむことができるのは素晴らしい体験だった」

②「障害のある人がこんなにも高いポテンシャルをもっていることに驚いた」

↓参加した学生の体験レポート(東洋大学 HP に移動します)

<http://www.toyo.ac.jp/social-partnership/csc/unified/activity/353027/>

2. ユニファイドワークショップ

東洋大学総合スポーツセンターにて、学生を対象に S0 の活動理念や共生社会実現への取組を学び、また、ユニファイドバスケットボールプログラムの視察を通じて、知的障害のある人への理解をより深めることを目的としたワークショップを実施しました。

S0 を認知している学生は少なかったものの、参加者からは「ぜひパートナーとしてアスリートと共にスポーツを活動してみたい」「今まで知らなかった分野を知ることができていい機会だった」等の感想が寄せられました。



ユニファイドワークショップの様子

3. コカ・コーラ支援自販機の設置

8月31日付で白山キャンパスにSON・東京のコカ・コーラ支援自販機が設置されました。
購入金額の一部がSON・東京へ寄付されます。



設置されたコカ・コーラ支援自販機

4. 社会福祉学科 志村ゼミの活動(白山祭・シンポジウム)

国内でSO活動が始まったときからボランティアとして関わって頂いた、社会学部の志村健一教授のゼミ生が4月よりSON・東京のバスケットボールユニファイドプログラムに参加しています。その活動体験から学んだSOおよび知的障害についてポスターを作成して、白山祭にて学術発表を行いました。グループに分かれ「知的障害のある人」「SO」「アダプテッドスポーツ」を主題に研究の成果を展示したほか、来場した人とアスリートで即席チームを組み、ボッチャ体験等を実施しました。

また、社会福祉学科1年生を対象にスポーツによる障害のある人たちの社会参加と自立支援についてのシンポジウムを開催しました。シンポジウムでは日本財団パラリンピックサポートセンター、トヨタ自動車株式会社、そしてSOの三者による障害のある人へのそれぞれの団体の取り組みについての講演に加え、ゼミ生一人一人による、授業やSO活動を通して学んだこと、感じたことをスピーチという形で学生に伝えました。

参加した学生から寄せられた感想

- ①「スポーツを競うものとして、心を育てるものとして捉えているのが素敵だと思った。」
- ②「障害者スポーツは障害者と関わる上で、支援する・されるという関係ではなく、同じ立場に立って仲良くなれるのはいいと思いました。」

③「たしかに私たちの心のどこかには知的障害者に対する偏見があったと思います。しかしながら、スポーツを通して同じ競技に同じ気持ちで参加して協力することで理解が深められるなと感じました。今回学べたことをもっと多くの人に知ってもらいたいと強く思いました。知的障害者と私たちは対等な人間であることをしっかりと理解してほしいです。支え合うことでさらに良い社会を築けるのではないかと思います。」



学術発表(白山祭)の様子



ミニシンポジウムでのゼミ生の様子

5. 朝霞キャンパス フロアホッケー交流会

11月25日(日)に朝霞キャンパスの体育館にて、「2018年スペシャルオリンピックス日本 関東ブロックフロアホッケー交流会」が開催されました。主催地区であるSON・埼玉を始めとする6地区7チームが参加し競い合いました。



フロアホッケー交流会の様子